

# Physician Controlled Wire Guided Cannulation

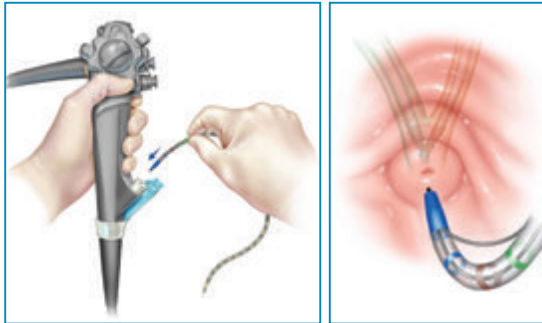
術者がガイドワイヤを直接コントロールするカニューレーションテクニック

近年欧米では、“wire-guided cannulation”(WGC)がERCPカニューレーションの一般的な手法として行われるようになってきました。さらに昨今では、術者が直接ガイドワイヤをコントロールするカニューレーションテクニック、Physician Controlled WGC(PCWGC)へと進化しました。

WGCは、カニューラを用いて試し造影を行う従来法と比べて、不要な膵管造影を回避することができるため、ERCP後膵炎のリスク軽減の一因となることが期待されています\*。

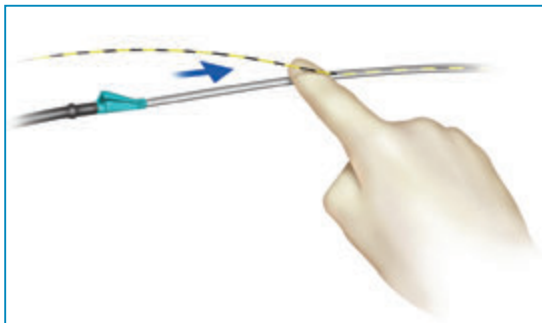
## PCWGC 手技の手順

### Step1 Autotome RXの挿入



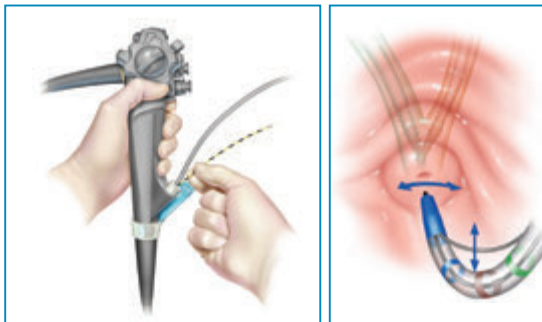
Autotome RX にガイドワイヤをプレロードし、内視鏡へ挿入します。主乳頭の下に位置を合わせます。

### Step2 ガイドワイヤの分離



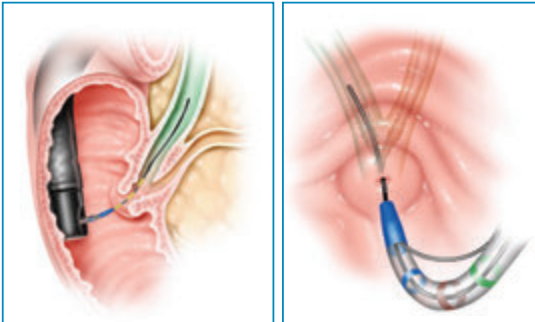
Autotome RXのカテーテルからガイドワイヤを指ではざとり、もう一方の手でハンドル部とガイドワイヤを把持します。

### Step3 軸合わせ



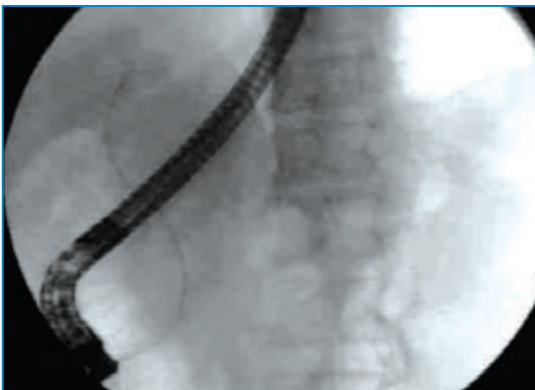
乳頭をよく観察し、カテーテルと総胆管の方向が一直線になるように、内視鏡のアンクル操作で軸合わせをします。必要に応じて助手がカテーテルのハンドルを操作して先端を曲げ、適切な角度に調整します。

### Step4 ガイドワイヤの挿入



ガイドワイヤ先端部を乳頭に1~3mm進めて、共通管を静かに探ります。術者はこの時点で「たわみ感」または「突き当たり感」といった、ガイドワイヤ先端から伝わる感触のフィードバックを経験します。抵抗を感じるようなら、ガイドワイヤを引き戻してアプローチの角度を変更します。

### Step5 深部挿管



速やかな抵抗消失感と共にガイドワイヤが進んだら、X線透視画像で胆管にガイドワイヤが挿入されているかを確認します。その後、ガイドワイヤに沿わせてカテーテルを胆管内に挿入します。

### Step6 ガイドワイヤのロック(アクセスの確保)



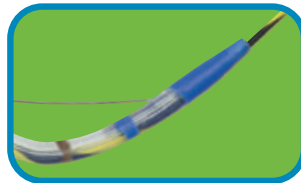
ガイドワイヤが目的部位に達したら、位置ずれを防止するためにロックングデバイスを使用して固定し、診断や治療に進みます。

# Autotome™ RX オートトームRX カニューレーティング スフィンクテロトーム

## Autotome™ RX 49



## Autotome™ RX 44



## Autotome™ RX 39



## Autotome™ RX

カタログ番号	品名	刃長 (mm)	先端長 (mm)	先端チップ外径 (F)	カテーテル外径 (F)	適合ガイドワイヤ (inches)
4515	Autotome RX 49	20	5	4.9	7	0.035
4516	Autotome RX 49	30	5	4.9	7	0.035
4517	Autotome RX 44	20	5	4.4	7	0.035
4518	Autotome RX 44	30	5	4.4	7	0.035
4519	Autotome RX 39	20	5	3.9	7	0.025
4520	Autotome RX 39	30	5	3.9	7	0.025

径表示換算目安：1mm=3French=0.0394inches

販売名:オートトーム RX  
医療機器認証番号:219ABBZX00233000

製品の詳細に関しては添付文書等でご確認いただくか、弊社営業担当へご確認ください。  
© 2019 Boston Scientific Corporation or its affiliates. All rights reserved.  
All trademarks are the property of their respective owners.

**Boston Scientific**  
Advancing science for life™

ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社  
本社 東京都中野区中野4-10-2 中野セントラルパークサウス  
[www.bostonscientific.jp](http://www.bostonscientific.jp)

1907-31205-C-ODP / PSST20190716-0705

# Autotome™ RX

## Cannulating Sphincterotome

オートトームRX カニューレーティング スフィンクテロトーム



A difference you can feel™.

**Boston Scientific**  
Advancing science for life™



## RX Biliary System™

A difference you can feel.™

消化器内視鏡領域では、内視鏡像の視野だけでなく術者の触感によるアプローチも重要視されています。RX Biliary Systemを構成する製品群は、製品のレスポンスで実感できる優れたアクセス性とコントロール性を提供すべく改良されてきました。まさに、術者がその違いを体感できるシステムです。

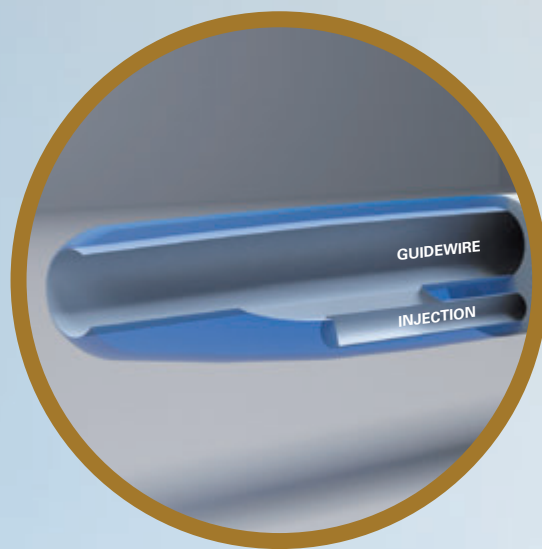
長年にわたり、ボストン・サイエンティフィックはRX Biliary Systemを日常的に使用する世界中の医療従事者から信頼とご愛顧をいただいています。RX Biliary Systemはその優れたパフォーマンスにより胆膵処置の可能性を拡大することに貢献してきました。術者のシングルオペレーションを想定した製品の技術革新が、繊細なコントロールとアクセスを可能にします。



### ROTATION

ガイドワイヤ併用の”wire-guided cannulation”テクニックにおいて高いパフォーマンスを発揮

- ◆ 手元のハンドル操作で先端チップが回転し、カニューレション時の理想的な挿入角度が得られます。
- ◆ 先端チップはテーパード加工が施されており、症例に応じて3種類のバリエーション(4.9F/4.4F/3.9F)から選択できます。



### MERGING LUMEN TECHNOLOGY™

手元部では3ルーメン、先端部ではシングルルーメンになるよう設計されたカテーテル構造\*

- ◆ カテーテルの中心からガイドワイヤが出るため、“wire-guided cannulation”時の軸合わせをしやすくします。
- ◆ 先端がより細くなるテーパード加工により、スムーズな挿入性を発揮します。
- ◆ 先端チップルーメン内の圧が高まった際には、造影剤をガイドワイヤルーメンに逃がし、造影剤の粘膜下注入や過剰な造影を防ぐ構造になっています。

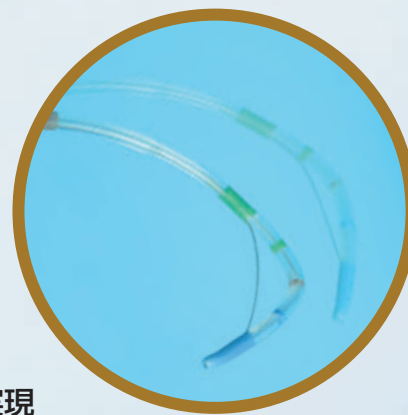
\* Autotome™ RX 44, Autotome™ RX 39のみ

### FLEX CONTROL SYSTEM

カッピングワイヤとハンドルのスムーズな動作連携を実現

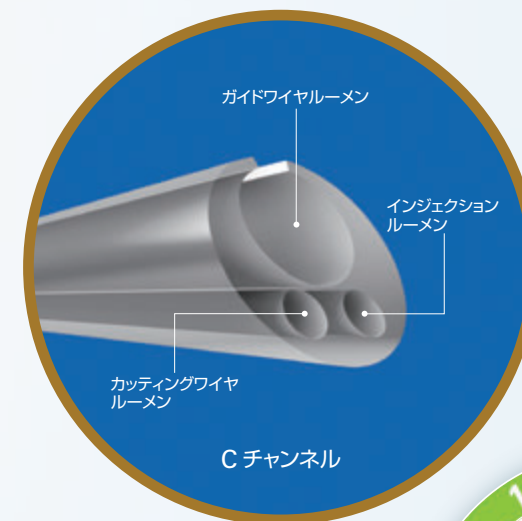
- ◆ ハンドルとカッピングワイヤの優れた動作連携が、正確な軸合わせをサポートします。
- ◆ ハンドルから手を離しても、調整したナイフの角度を維持します。\*

\* Autotome™ RX 44, Autotome™ RX 39のみ



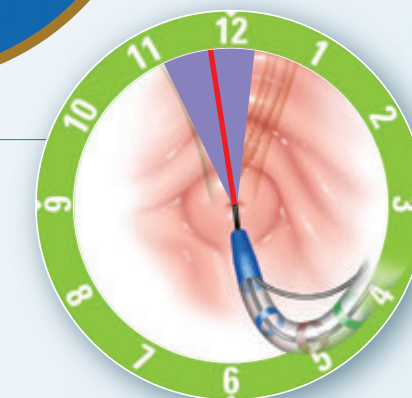
### Triple Lumen

カテーテルはガイドワイヤを挿入した状態で造影が可能な3ルーメン構造。スムーズな手技が行えます。



### Orientation

カテーテルが理想的な角度を示すよう、設計されています。



### RX Biliary System™

術者のシングルオペレーションを可能にし、迅速な手技が行えるRX Biliary System™ 対応。



EST (Endoscopic Sphincterotomy : 内視鏡的乳頭括約筋切開術) や Autotome™ RX の使用のコツを解説した資料や動画をご用意しております。詳しくは担当営業までお問い合わせください。